

## 平安女学院がマスコミに報道されました！！

2007年10月5日(金)  
京都新聞 夕刊

セーラー服を学校制服として日本で初めて導入したのは、京都市上京区の平安女学院だったことが、岡山県の制服メーカーの調べでわかった。通説だった福岡女学校(現・福岡女学院中高、福岡市)の1921(大正10)年を1年だけさかのぼる。

### セーラー服導入 平安女学院元祖

明治末期からはかまとバックルを統一していた平安女学院が、洋式制服を導入したのは1920(大正9)年。ウエストにベルトが付いた紺色のワンピースで、胸から開いた大きな襟と胸元のリボンが特徴だった。同校が2000年に発行した『写真で見ると50年史』には、「好評で他校生からも後援視された」と紹介されている。

ユニフォームミュージアムを持つ岡山県の制服メーカー「トンボ」が、大正時代に女子制服を導入していた約15の学校に調査して判明した。

同社によると、セーラー服はイギリス海軍で1877年にデザインされ、19世紀末には制服としてヨーロッパ各国の女生徒に広まった。日本では大正10年代、学校関係者



平安女学院の初代セーラー服。付け替え可能な白い襟が特徴的な印象。(平安女学院提供)

大正9年 福岡の学校より1年早く

### 1920年「平女」が元祖 セーラー服



「平女」が元祖  
セーラー服の起源はイギリス海軍で1877年にデザインされ、19世紀末には制服としてヨーロッパ各国の女生徒に広まった。日本では大正10年代、学校関係者

2007年10月6日(土)  
毎日新聞 夕刊

### セーラー服「元祖」は京都



平安女学院、大正9年採用  
セーラー服の起源はイギリス海軍で1877年にデザインされ、19世紀末には制服としてヨーロッパ各国の女生徒に広まった。日本では大正10年代、学校関係者

2007年10月6日(土)  
朝日新聞 夕刊



## 本学院の初代制服が 展示紹介! (10/6より)

企画展 **セーラー服と縞** その由来と広がりに関する展覧会

平成19年10月6日(土)~11月25日(日)

会場: 横浜マリタイムミュージアム 特別展示室  
開館時間: 10:00~17:00  
休館日: 月曜日休館(但し10月8日は開館、翌日休館)

入館料: 高校生以上600円 / 小・中学生300円  
※乗船する帆船日本丸の船内も見学できます  
※20名以上の団体は100円引きです  
※毎週土曜日は小学生・中学生・高校生無料

交通: みなとみらい線 みなとみらい駅 馬車道駅下車徒歩5分 / JR根岸線・市営地下鉄線 桜木町駅下車徒歩5分  
主催: 横浜マリタイムミュージアム(MMMA) 帆船日本丸記念財団・JTB共同開催  
後援: 横浜市港湾局

横浜マリタイムミュージアム  
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1 帆船日本丸記念財団・JTB共同開催 TEL. 045(221)40280 http://www.nippon-maru.jp

SAILOR SUIT & STRIPE T-SHIRT The U.S. Atlantic Fleet  
セーラー服と縞シャツの起源

◆記念講演会  
講師: 杉浦昭典(神戸商科大学名誉教授)  
日時: 11月10日(土) 14:00~16:00  
定員: 100名(参加費500円)  
申込方法: 往復はがきにて住所、氏名、年齢を明記して、10月31日(日)までに講演会事務局へ申し込みください。

◆フロアガイド  
日時: 10月20日(土) 14:00~14:30  
11月3日(祝・土) 14:00~14:30  
※参加費無料ですが、入館料が必要です。

協賛: 日本郵船株式会社 船員組合 日本郵船株式会社 船員組合 日本郵船株式会社 船員組合